平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月14日

上場会社名 株式会社データホライゾン　　上場取引所　東
コード番号 3628　URL http://www.dhorizon.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 内海 良夫
問合せ先責任者　(役職名) 取締役経営管理部長　(氏名) 内藤 慎一郎　TEL 082-279-5525

四半期報告書提出予定日　平成26年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,300	19.5	△347	―	△344	―	△308	―
25年3月期第3四半期	1,087	△12.8	△341	―	△344	―	△320	―

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　△307百万円　(―%)　25年3月期第3四半期　△320百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△88.57	―
25年3月期第3四半期	△92.11	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	1,143	577	50.2	165.08
25年3月期	1,453	882	60.6	253.38

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　574百万円　25年3月期　881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―	0.00	―		
26年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,250	19.7	△100	―	△108	―	△70	―	△20.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
②①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	3,557,060 株	25年3月期	3,557,060 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	78,851 株	25年3月期	78,851 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	3,478,209 株	25年3月期3Q	3,478,252 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

頁

１．　当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１） 連結経営成績に関する定性的情報…… 2
（２） 連結財政状態に関する定性的情報…… 3
（３） 連結業績予想に関する定性的情報…… 3
２．　サマリー情報（注記事項）に関する事項…… 4
（１） 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動…… 4
（２） 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用…… 4
（３） 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示…… 4
３．　四半期連結財務諸表…… 5
（１） 四半期連結貸借対照表…… 5
（２） 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書…… 7
四半期連結損益計算書…… 7
四半期連結包括利益計算書…… 8
（３） 四半期連結財務諸表に関する注記事項…… 9
（継続企業の前提に関する注記）…… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）…… 9
（セグメント情報等）…… 9
４．　補足情報…… １１
販売の状況…… １１

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１） 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、13億円（前年同期比19.5%増）となりました。

損益面におきましては、前年同期比で増収となったものの、東日本地域での営業エリア拡大に伴う販売費負担の増加や病院向けシステムにおける仕入商品の取扱増加に伴う原価率の上昇等により、営業損失は３億47百万円(前年同期は３億41百万円の営業損失)、経常損失は３億44百万円(前年同期は３億44百万円の経常損失)となりました。四半期純損失は、前期に実施した繰延税金資産の取り崩しを当期は実施していないことから法人税等調整額が増加し、３億８百万円(前年同期は３億20百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第１四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を従来の「医療関連情報事業」および「その他」から「医療関連情報サービス事業」および「医療関連パッケージシステム事業」に変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

① 医療関連情報サービス事業

当第３四半期連結累計期間における医療関連情報サービス事業の売上高は、６億30百万円(前年同期比12.8%増)となり、セグメント損失は縮小し27百万円（前年同期は44百万円のセグメント損失）となりました。

保険者向け情報サービスの売上高は、前期に引き続き国民健康保険向けの受注が増加し、５億35百万円(前年同期比23.6%増)となりました。

このうち、国民健康保険向けは、西日本地域において近畿圏や九州での新規受注を拡大するとともに、ジェネリック医薬品通知サービスに加え、保健事業支援サービス「ヘルスケアやまと」を拡販することで順調に売上を伸ばしました。また、東日本地域においても、前期から東京支店を置き本格的に営業活動を行ってきた成果が出てきており、東京都23区の一部を含む首都圏や東北、北海道などで新規の受注を獲得いたしました。

また、来期に向けた営業活動も順調に推移しており、来期も引き続き売上高の増加が見込まれます。

一方で、被用者保険向けは、第４四半期に売上計上を見込んでいた協会けんぽ全国支部へのジェネリック医薬品通知サービスが受注できませんでしたが、来期に向けての営業活動は順調で、レセプトと検診等のデータを活用した保健事業「データヘルス」の義務付けと、これに関する補助金の予算要求がされたことなどにより引き合いが急増しています。

当社は、紙レセプト時代からレセプトを活用した保健事業のためのシステムを開発し提供してきた技術的アドバンテージと、広島県呉市を始めとする「データヘルス」に適合したサービスの提供実績をもとに、積極的な拡販を行っており来期の大幅な売上高増加を目指しています。

その他の医療関連情報サービスは、病院向けシステムへのデータベース提供料や医療関連の受託開発などであり、当第３四半期連結累計期間の売上高は94百万円（前年同期比24.6%減）となりました。

② 医療関連パッケージシステム事業

当第３四半期連結累計期間における医療関連パッケージシステム事業の売上高は、６億69百万円（前年同期比26.7％増）となりましたが、セグメント損失は拡大し１億28百万円（前年同期は93百万円のセグメント損失）となりました。

保険薬局向けシステムにおいては、当四半期に新商品の地域別の対応が終了して全地域で販売を開始しましたが、本格的な受注は４月の薬価改定の作業後となるため、売上高は、前年同期並みの３億68百万円（前年同期比３％減）にとどまる一方で、新商品の準備のための原価の増加により損失が増加しました。

病院向けシステムにおいては、前期に連結子会社コスモシステムズ㈱が高度管理医療機器販売業の許可を得たことで仕入商品の取扱種類を増やしたことなどにより、売上高は２億94百万円（前年同期比116.9％増）と大幅に売上を伸ばしました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期末の総資産は、前期末に比べて３億 10 百万円減少し、11 億 43 百万円となりました。

（資産）

当第３四半期末の流動資産の残高は、前期末の売掛金の回収により売掛金が４億１百万円減少しましたが、買掛金の支払いおよび納税などにより現金及び預金は 48 百万円の増加にとどまり、前期末に比べて２億 76 百万円減少しました。

また、固定資産に大きな増減はありません。

この結果、当第３四半期末の資産合計は、前期末に比べて３億 10 百万円減少し、11 億 43 百万円となりました。

（負債）

当第３四半期末の流動負債の残高は、短期借入による 30 百万円の収入などにより前期末に比べて 32 百万円増加しました。

また、固定負債は、長期借入金やリース債務の返済などにより、前期末に比べて 38 百万円減少しました。

この結果、当第３四半期末の負債合計は、前期末に比べて５百万円減少し、５億 66 百万円となりました。

（純資産）

当第３四半期末の純資産の残高は、四半期純損失３億８百万円により利益剰余金が減少し、５億 77 百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第３四半期連結累計期間までの業績動向等を踏まえ、平成 25 年５月 10 日付「平成 25 年３月期決算短信」で公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成 26 年２月 14 日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報 （注記事項） に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	274,494	322,855
受取手形及び売掛金	637,639	237,561
商品	2,355	12,284
仕掛品	7,854	39,850
原材料及び貯蔵品	11,059	13,812
繰延税金資産	14,547	55,017
その他	35,252	23,300
貸倒引当金	△4,467	△1,991
流動資産合計	978,735	702,688
固定資産		
有形固定資産	202,210	193,650
無形固定資産		
ソフトウエア	140,780	118,314
ソフトウエア仮勘定	－	5,543
のれん	2,285	1,035
その他	792	792
無形固定資産合計	143,857	125,685
投資その他の資産	129,104	121,576
固定資産合計	475,171	440,912
資産合計	1,453,905	1,143,599
負債の部		
流動負債		
買掛金	97,249	142,793
短期借入金	60,000	90,000
1年内返済予定の長期借入金	29,936	25,392
未払法人税等	2,400	1,167
賞与引当金	16,341	23,511
その他	227,324	183,385
流動負債合計	433,249	466,249
固定負債		
長期借入金	52,382	33,338
退職給付引当金	39,052	43,451
その他	46,970	23,193
固定負債合計	138,404	99,983
負債合計	571,653	566,231

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	454,200	454,200
資本剰余金	154,200	154,200
利益剰余金	318,356	10,300
自己株式	△52,516	△52,516
株主資本合計	874,240	566,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,417	4,605
為替換算調整勘定	2,668	3,386
その他の包括利益累計額合計	7,084	7,991
新株予約権	―	2,473
少数株主持分	928	721
純資産合計	882,252	577,368
負債純資産合計	1,453,905	1,143,599

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	1,087,559	1,300,093
売上原価	694,411	881,758
売上総利益	393,148	418,335
販売費及び一般管理費	735,135	765,435
営業損失（△）	△341,987	△347,099
営業外収益		
受取利息	65	35
受取配当金	397	392
為替差益	159	－
助成金収入	250	－
貸倒引当金戻入額	3,526	2,476
雑収入	3,614	1,394
営業外収益合計	8,011	4,297
営業外費用		
支払利息	3,180	2,066
為替差損	－	108
持分法による投資損失	7,473	－
営業外費用合計	10,652	2,174
経常損失（△）	△344,629	△344,976
特別利益		
持分変動利益	2,013	－
特別利益合計	2,013	－
特別損失		
固定資産除却損	855	2,420
特別損失合計	855	2,420
税金等調整前四半期純損失（△）	△343,471	△347,396
法人税、住民税及び事業税	3,750	1,530
法人税等調整額	△26,630	△40,633
法人税等合計	△22,880	△39,104
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△320,591	△308,293
少数株主損失（△）	△224	△237
四半期純損失（△）	△320,367	△308,056

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△320,591	△308,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,253	188
為替換算調整勘定	1,769	748
その他の包括利益合計	515	936
四半期包括利益	△320,076	△307,357
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△319,871	△307,149
少数株主に係る四半期包括利益	△204	△207

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　　至　平成24年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	医療関連情報サービス事業	医療関連パッケージシステム事業			
売上高					
外部顧客への売上高	558,617	528,942	1,087,559	－	1,087,559
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	558,617	528,942	1,087,559	－	1,087,559
セグメント損失(△)	△44,151	△93,209	△137,360	△204,627	△341,987

(注) １．セグメント損失の調整額△204,627千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)
該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)
該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)
該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　　至　平成25年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	医療関連情報サービス事業	医療関連パッケージシステム事業			
売上高					
外部顧客への売上高	630,095	669,998	1,300,093	－	1,300,093
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	630,095	669,998	1,300,093	－	1,300,093
セグメント損失(△)	△27,795	△128,064	△155,860	△191,239	△347,099

(注) １．セグメント損失の調整額△191,239千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

第１四半期連結会計期間より、グループ内での業務移管および人員の異動に伴い、報告セグメントを従来の「医療関連情報事業」の１区分から「医療関連情報サービス事業」および「医療関連パッケージシステム事業」の２区分に変更しております。この変更に伴い、従来「その他」に含めていた過去に販売したシステムのリプレース等は「医療関連パッケージシステム事業」に含めて表示しております。

また、報告セグメントの事業をより適切に評価管理するために、従来、各報告セグメントに配賦していなかった全社費用の一部を合理的な配賦基準に基づき各報告セグメントに配賦しております。

なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第３四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

４．補足情報

販売の状況

当第３四半期連結累計期間の販売実績をサービス・製品の区分ごとに示すと、次のとおりであります。

なお、第１四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を従来の「医療関連情報事業」および「その他」から「医療関連情報サービス事業」および「医療関連パッケージシステム事業」に変更しております。あわせて、サービス・製品についても区分を見直し、以下の販売実績については、前年同期の数値を変更後の区分に組み替えた数値で比較しております。

（サービス･製品別売上高）

サービス・製品の名称	前第3四半期連結累計期間 自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日		増　減	
	販売高 （千円）	構成比 （%）	販売高 （千円）	構成比 （%）	金額 （千円）	増減率 （%）
保険者向け情報サービス	433,623	39.9	535,870	41.2	102,247	23.6
その他	124,993	11.5	94,225	7.3	△30,768	△ 24.6
医療関連情報サービス	558,617	51.4	630,095	48.5	71,479	12.8
保険薬局向けシステム	379,555	34.9	368,289	28.3	△11,267	△ 3.0
病院向けシステム	135,642	12.5	294,194	22.6	158,552	116.9
その他	13,745	1.2	7,515	0.6	△6,230	△ 45.3
医療関連パッケージシステム	528,942	48.6	669,998	51.5	141,056	26.7
合計	1,087,559	100.0	1,300,093	100.0	212,534	19.5

（注）記載金額は、千円未満を四捨五入して記載しております。